

第3章 施策の方向と具体的内容

1. 「おぐに」の魅力を活かした産業振興と“しごと”の創出

政策の基本目標

産業づくりと雇用の促進を図ることは、町民の安定した生活や地域の活性化、持続可能な地域づくりに欠かせない重要な取り組みです。小国町特有の豊かな地域資源を存分に活用した、新しい産業づくりや地域資源のブランド化の取り組みに加え、農林業や製造業など既存産業の発展支援を図り、就業機会の拡大に結びつけるとともに、産業全体の成長を目指します。

数値目標(成果指標)	現状値(基準値)	目標値
町内事業所従業員数	3,409 人(H24)	3,480 人(H31)
農林業従事者数	280 人(H22)	290 人(H31)
町内総生産	30,911 百万円(H24)	32,986 百万円(H31)

講ずべき施策の基本方向

(1) 既存産業の継続的な発展支援

小国町の経済を牽引する製造業をはじめ既存の産業が、その強化を図り、新たな雇用につなげるための環境づくりを進めます。また、農林業経営基盤の強化や新規就農対策の推進により、地域営農体制の確立と若い世代の農業経営者の育成を図ります。

(2) 森林資源のさらなる活用と第1次産業の活性化・高度化の推進

小国町の特質である森林資源の豊かさを存分に活かしながら、新しい事業展開を目指した仕組みの構築に取り組むとともに、多様な視点を通じた特産品の開発やそのレベルアップなど、6次産業化の推進強化に努めます。

(3) 各分野の連携・協働による地域資源のブランド化の促進

農商工その他多彩な分野の連携を深め、小国町の地域資源のブランド化を推進し、小国町の魅力を広く発信していきます。特に、「白い森の国おぐに」ブランドの確立により、小国町そのものの付加価値を高めながら、特産品の販売拡大、イベントの参加拡大、さらに小国の暮らしを素材とした交流推進などにつなげていきます。

(4) 環境保全や健康など新たな価値を生み出す産業づくり

小国町に賦存する豊富な自然資源や社会・文化資源に着眼点を置き、再生可能エネルギー

ギーのより一層の活用を図ることで、内部での循環の促進を図ります。さらには、保養、医療・福祉分野と食・農業との連携による健康長寿型産業など、新たな価値や特長を生み出す産業づくりに向けた育成、支援に取り組みます。

(5) 多様な働き方の創出と起業・創業支援

一人ひとりが有する能力や技術などを発揮できる、多様な仕事の組み合わせを可能とする仕組みを構築するとともに、小国町内における新たな起業・創業の促進を図ります。

具体的な施策の内容

(1) 既存産業の継続的な発展支援

① 地元雇用の促進

小国町の特長である自然を活かした、新規事業所の立地など、地域経済の活性化、地元における雇用の創出を図るため、情報発信と情報共有を進めます。

【個別の取り組み】

- 企業誘致の推進
- 雇用相談室の設置
- 雇用促進奨励金の交付
- 地域経済活性化懇話会の設置
- 町内交流施設等の事業充実による雇用確保

② 農林業経営基盤の強化

農用地の維持保全、農地の集積、集約化や作業の効率化などを図り、小国町の魅力あふれる作物づくりを進めるため、安心安全な米づくりや振興作物の生産拡大推進に取り組みます。

【個別の取り組み】

- 農業の多面的機能の維持
- 地産地消の推進
- 振興作物作付け拡大の推進
- やまがた地鶏産地化形成
- 雑穀産地化の推進
- 農林業生産基盤施設の整備
- 有害鳥獣被害対策の促進

③ 新規就農対策の推進

新規就農者の確保に向け、これまでの支援に加え、移住者による新規就農を促進させるための新たな施策を構築し、農家の高齢化、担い手不足等の解消をはじめ、農村のたたずまいの保全につなげます。

【個別の取り組み】

- 新規就農者への支援充実
- 農業・農村暮らしの体験の推進
- 地域おこし協力隊の活用

④工業、製造業の発展と商業の振興

景気、雇用対策の中心として、小国町の中核企業などの安定成長や拡大発展のための環境整備を図るほか、少子高齢化や人口減少などに的確に対応し、新たな魅力や個性あふれる商業サービスの構築への支援を通じ商店街のにぎわいづくりを進めます。

【個別の取り組み】

- 地域経済活性化懇話会の設置[再掲]
- 県と連携した企業の地方拠点機能強化の促進
- 商業の宅配サービス、移動販売等への支援
- 商業基盤施設の整備
- 中心商店街活性化計画の策定支援

数値目標(成果指標)	現状値(基準値)	重要業績評価指標(KPI)
新規事業所立地件数(年間)	1件(H26)	2件(H31)
多面的機能活動団体数	21団体(H27)	25団体(H31)
新規就農者数(年間)	4人(H26)	5人(H31)
製造業出荷額(年間)	29,334,580千円(H24)	33,075,000千円(H31)

(2) 森林資源のさらなる活用と第1次産業の活性化・高度化の推進

①特用林産物の開発と産地化

小国町内で展開されているキノコ栽培の発展を支援するため、農業者、民間、行政が連携した仕組みづくりを進め、産地化に向けた事業展開を図ります。また、ワラビ粉の活用を図る取り組みが進められていることから、新たな特産として事業化できるよう支援を行います。

【個別の取り組み】

- キノコ生産拡大の仕組みづくり
- ワラビ粉生産技術支援の推進

②6次産業化の推進

6次産業化の推進において、関係機関との連携を深めるとともに、農業の役割を再認識しながら、特産品開発などを中心とした取り組みの展開を図ります。一方、小国町の食文化の保全と活用につながる取り組みや、特産品や商品開発における原材料供給という視点、他地域の資源とのコラボレーション等ネットワーク化を含めた新たな展開手法を探ります。

【個別の取り組み】

- 地域資源活用型産業創出への支援
- 農産物販売施設の整備
- アンテナショップの設置
- 食文化と産業を結ぶ仕組みづくり¹⁾
- 6次産業化のネットワーク形成

数値目標(成果指標)	現状値(基準値)	重要業績評価指標(KPI)
特用林産物年間出荷量(年間)	368t(H25)	400t(H31)
新たな特産品商品化数	-	5件(H31)

(3)各分野の連携・協働による地域資源のブランド化の促進

①地域ブランドの確立

小国町の地域資源の魅力を町内外に広く発信し、認知向上を図るため、統一したイメージによるブランド化を進めるとともに、ブランドイメージによる高い付加価値のある商品の販売拡大、イベント参加拡大、さらには小国の暮らしを素材とした交流の展開などに結びつけていきます。

【個別の取り組み】

- 地域資源のブランド構築
- 認知向上活動の展開
- 地域産品ブランド化の推進

②農商工等連携の仕組み構築

地域資源のブランド化に向け、農商工等各分野の連携による横断的な仕組みを構築し、多様な展開を図ります。

【個別の取り組み】

- 農商工等連携の推進
- 多様な主体による連携事業の展開

数値目標(成果指標)	現状値(基準値)	重要業績評価指標(KPI)
「白い森の国おぐにブランド」認定件数	-	10件(H31)
農商工等連携団体数	1団体(H27)	5団体(H31)

(4)環境保全や健康など新たな価値を生み出す産業づくり

①再生可能エネルギーの利用促進

豊富な森林資源を活かした木質バイオマスエネルギーのさらなる利用を図るため、公共施

設におけるシステム導入を促進するほか、民間や個人による導入推進を継続的に展開します。また、農業用水路等を活用した小水力エネルギーや新たに雪氷冷熱エネルギーの利用検討なども行いながら、環境保全につながる産業や仕事づくりへの発展を目指します。

【個別の取り組み】

- 木質バイオマスエネルギーの普及拡大
- 小水力エネルギーの利用による農産物等の高付加価値化
- 雪氷冷熱エネルギーなど新たな再生可能エネルギーの利用推進

②医福食農連携を含めた健康長寿型産業の創出

小国町の多様な資源を組み合わせ、高齢化や健康づくりといった視点を重要視した新しい産業として展開できる健康長寿型産業の創出を進めることにより、雇用の確保に加え先進的な産業づくりの足がかりとします。

【個別の取り組み】

- 健康セラピーの取り組み支援
- 薬草など新たな資源を活用した産業づくりの調査研究と研究機関の誘致¹⁾

数値目標(成果指標)	現状値(基準値)	重要業績評価指標(KPI)
公共施設の再エネ利用数	8件(H27)	12件(H31)
新たな健康産業関連事業所数	-	2件(H31)

(5)多様な働き方の創出と起業・創業支援

①新たなワークスタイルの創出²⁾

自分の時間やライフスタイルに応じた働き方や、ICTを活用した仕事づくり、さらには一つの仕事に限定せず、自営業+αなど組み合わせによる収入確保など、小国町ならではの新しいワークスタイルの創出を図り、特に若い世代の仕事につなげていきます。

【個別の取り組み】

- テレワークセンターやワーキングスペースの整備に向けた調査研究

②起業・創業に対する支援

新たな仕事づくりや産業振興を目指し、小国町内において多様な人々や企業などが、積極的に起業・創業に取り組むための環境づくりや女性が生き生きと活躍できる環境づくりに努めます。

【個別の取り組み】

- 起業・創業に関するセミナーの開催
- 女性のための起業支援対策の推進

数値目標(成果指標)	現状値(基準値)	重要業績評価指標(KPI)
新たな働き方の組み合わせ数	-	5件(H31)
起業化支援補助金活用件数(年間)	2件(H27)	3件(H31)

総合戦略策定メモ

総合戦略策定にあたっては、幅広い意見を集約するため、『小国町地域創生総合戦略策定懇話会』の開催と『住民意識アンケート』を実施しました。懇話会での意見やアンケートの結果は、具体的な施策の設定に反映させています。

〈小国町地域創生総合戦略策定懇話会〉

産学官金労、各分野と各世代の町民から構成。「雇用創出部会」「人の流れ創造部会」「結婚・出産・子育て部会」「地域創造・暮らし安心部会」の4部会で、延べ13回の会議を開催し議論を重ねました。

〈住民意識調査アンケート〉

中学生以上の全町民、一部の小国町出身者に対し、アンケートを実施し、広く町民ニーズ等の把握を行い、総合戦略への反映に努めました。

○一般町民向け(回収率 77.9%) ○中高生向け(回収率 67.0%) ○小国町出身者向け(回収率 60.0%)

* 小国町地域創生総合戦略策定懇話会で提案された取り組み～

- 1) 漢方薬等の高付加価値作物の可能性の検討(雇用創出部会) ----- p10
- 2) データセンターを含めICTを活用した仕事づくり(人の流れ創造部会) ----- p10

** 住民等意識アンケートの結果から～

- i) 「残すべき山村文化」との質問に対して、「伝統的な食文化」が最も高い割合で挙げられています。

----- p9

